





# 平成26年第4回定例会一般質問

平成26年12月11日・12日・15日

(14枚のうち3枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	緒方 重則議員	<p>1 市水道水の利活用について</p> <p>2 自治会の取り組みについて</p>	<p>施設等の整備改修を現在行っている山野水源地の水は良質で豊富な水量に恵まれ「安全で安心 おいしい水」を自負する市水道水を供給する水源地のひとつである。その水道水をペットボトルなどに入れて、</p> <p>(1) 市のPRとして販売する考えは無いか伺う。またその取り組みにより、休館中の夢さくら館を活用できるのではないか。</p> <p>(2) 災害備蓄用として市民に有償または無償配布することは出来ないか。</p> <p>限界集落や、数戸数に減少し現状を維持することが困難な自治会が増えつつある。自治会活動の継続、災害時の避難対策、地域環境の維持など、どのように考え取り組んでいけばいいのか伺いたい。</p> <p>(1) 現状をどう見ているのか。</p> <p>(2) 行政が出来る事、コミュニティとして共助協力出来る事など連携していくことは不可欠と思うが具体策は。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

# 平成26年第4回定例会一般質問

平成26年12月11日・12日・15日

(14枚のうち4枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	諏訪 信一議員	<p>1 市民の安心、安全について</p> <p>2 シカ、猪肉の活用について</p>	<p>(1) 近年、夕食後に散歩をされる方が多いようです。元気こころ館駐車場に、街灯の設置は出来ないのか。</p> <p>(2) 元気こころ館に屋外トイレの設置は出来ないのか。</p> <p>シカや猪などの、野生鳥獣の肉を食材にする「ジビエ料理」について、厚生労働省の専門家検討会は安全に食べさせるための、指針をまとめました。</p> <p>(1) 鳥獣の農作物の被害額は。</p> <p>(2) 実施隊の人数、出動回数、捕獲数は。</p> <p>(3) 狩猟税の半額免税は出来ないのか。</p> <p>(4) シカ、猪肉を市内で販売しているが、その実績は。</p> <p>(5) イベント等での、実演、試食会、販売の検討はないのか。</p> <p>(6) 地元の精肉店、飲食店、旅館ホテル等の方々との取り組みを検討されたことはないのか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

# 平成26年第4回定例会一般質問

平成26年12月11日・12日・15日

(14枚のうち5枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	市来 弘行議員	1 「鹿児島県立大口高等学校活性化基金」創設とこれからについて	<p>今回、進学希望者が定員を大幅に下回った大口高校を2018年度まで支援する活性化基金条例と同基金が創設されることとなった。この件については、様々な論議がなされているが、地域の現在置かれている状況、また、この条例創設の意を考えるとすれば、ここはしっかりと遂行されて行くべきだと考える。そのうえで、以下の諸点につき、自らの考えも少し述べさせて頂き、執行部の見解をお聞きしたい。</p> <p>(1) 進学奨励金交付金事業の区分及びその内容等について                      (ア) この事業を推進するために、こういったところに最も力を注いで行きたいと考えておられるのか。</p> <p>(2) 進学指導連携事業について                      (イ) この事業の目指すところは、大口高校生全員の学力向上、また、その底上げにあると思われる。計画では、月1回、3教科2時限の講義実施となっているが、今後もう一段踏み込んだ支援体制が必要になってくるのでは、と考える。その点についてはどうか。</p>	市長 教育長	

# 平成26年第4回定例会一般質問

平成26年12月11日・12日・15日

(14枚のうち6枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	左近充 議員	1 中学校跡地に企業誘致を	<p>(1) 現在、全体的な企業誘致は、どのように進められているか。</p> <p>(2) 伊佐市に進出している企業の関連会社の誘致（住友や日本ハム等）はできないものか。</p>	市長	
		2 大口・水俣間トンネル整備を	<p>(1) 国道447号、えびの市へのルートが目処がついたということだが、どのようになっているか。</p> <p>(2) 国道447号、鹿児島県側の道路改良はほぼ終わっているようだが、トンネルもあるのか。</p> <p>(3) 水俣越えは冬場、雪や凍結でチェーン規制になる為にトンネルを、という声が市民の間に多くあるが、早めに要望していくべきではないか。</p>	市長	

# 平成26年第4回定例会一般質問

平成26年12月11日・12日・15日

(14枚のうち7枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	山下 和義議員	<p>1 大口高校等の高校振興策の取り組みについて</p> <p>2 小・中学校の教育環境及び生徒の進路状況について</p>	<p>第2回伊佐市臨時議会で可決された県立大口高校の活性化を支援する基金の創設に伴う大学進学奨励金交付事業等に、マスコミ等で賛否両論ある。行政はそれに左右されることなく今後の伊佐市と伊佐市民のために、大口高校、伊佐農林高校、大口明光学園の高校振興事業は出来る限り実施していくことが必要であると思っている。</p> <p>そこで次のことについて、市長の御見解をお伺いしたい。</p> <p>(1) 平成23年に菱刈環境改善センターで「演題（人づくりからのまちづくり）地域活性化の一翼を担う学校」海士町教育委員会高校魅力化プロデューサー岩本氏の講演会を開催された。伊佐市もこのような高校魅力化プロデューサーを置いて高校振興事業ができないか。</p> <p>(2) 伊佐市以外の地域から伊佐市の高校に入りたいと思っても寮等がないのが現状である。市民に生徒のための下宿等を働きかける考えはないか。</p> <p>(3) 市内高校と中高連携はできないか。</p> <p>(4) 今後大口高校等に考えられる支援策のメニュー等について。</p> <p>教育委員会は、今、小・中学校の児童生徒の学力向上や教育環境に精力的に取り組んでこられている。そこで次のことについてお伺いしたい。</p> <p>(1) 平成26年3月の伊佐市内の小・中学校卒業生の進路状況及び平成27年度進路希望調査等はどのような状況か。</p> <p>(2) 小学校と中学校の先生方の連携はどのように図られているのか。</p> <p>(3) 小・中学校のスクールカウンセラー等は十分か。</p> <p>(4) 小・中学校の部活等の状況について。</p>	<p>市長 教育長</p> <p>市長 教育長</p>	

# 平成26年第4回定例会一般質問

平成26年12月11日・12日・15日

(14枚のうち8枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	中村 周二議員	1 農業政策について	<p>(1) 伊佐の田園は、まだ米中心で動いている。野菜で言えばネギ、カボチャ等があるが、菱刈の下手の田園は砂地で、ラッキョウの団地化にしてはと話が出る。農家の人は、個人で売ることがむずかしい。行政がラッキョウの加工するところを見つけるか、農協と組むかで、契約で作ったものは全部売れるそういう団地化はできないか。</p> <p>(2) 伊佐の広い田園は、伊佐米というとてもおいしいコメができる。航空防除は、伊佐に1機だけヘリがあるが、もう1機何とかならないかという声がある。補助を見つけて、使うグループにもお金を出させて、増やしていく考えはないのか。</p> <p>(3) 菱刈の時代に、柿を作ることを進めたことがあった。今は柿を取る人もいない。もったいない気がする。伊佐は温泉もたくさんある。あおし柿の産地にもできると思うが、伊佐市が音頭をとって、あおし柿の産地にできないものか。</p>	市長	
		2 小さなホールについて	<p>(1) 私の所有する古民家で、11月22、23日に演劇集団非常口の人たちが、乗組員という演劇をされた。古民家2回目の演劇である。伊佐市にも小さく演劇をしたり、コンサートをしたり、ピアノの発表会をする人たちがいる。大分の豊後高田市では合併して空いた議場を少し改造して、何でもできる小さなホールを作っている。菱刈の議場は、もったいない。地域のために、市民のために使える場所にならないか、伺う。</p>	市長	

## 平成26年第4回定例会一般質問

平成26年12月11日・12日・15日

(14枚のうち9枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	森山 良和議員	<p>1 ICTの積極的な利活用はできないか</p> <p>2 番号制度（マイナンバー）導入で市民生活は変わるのか。</p>	<p>(1) 伊佐市におけるICT利活用状況を伺いたい。</p> <p>(2) 多様な分野（教育・産業・医療福祉など）での利活用が期待される。また、行政業務の効率化も図れると思うが、今後導入の計画はあるのか。</p> <p>(3) 地域間連携や安心・安全な暮らしという面でもICTが活躍すると思う。地域活性化に向け、ICTを利活用した新たなまちづくりは考えられないか。</p> <p>(1) 番号制度（マイナンバー）について説明されたい。また、システム環境整備及び市民への周知など、今後の計画について伺う。</p> <p>(2) システムの運用により、市民生活・市民サービスは何が変わるのか。</p> <p>(3) 制度導入が行政業務の在り方をも変えるのではと思われる。考えを伺いたい。</p>	<p>市長 教育長</p> <p>市長</p>	

## 平成26年第4回定例会一般質問

平成26年12月11日・12日・15日

(14枚のうち10枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	畑中 香子議員	<p>1 大学進学奨励金交付事業について</p> <p>2 学校図書館法改正にともなう学校司書配置について</p> <p>3 米価暴落について</p> <p>4 鳥獣被害対策について</p>	<p>(1) 11月12日臨時議会で伊佐市鹿児島県立大口高等学校活性化基金条例が成立したが、来年度受験生の変動について伺う。</p> <p>(2) この事業について多くの批判が寄せられていることについて市長の見解を伺う。</p> <p>(3) 臨時議会で示された要綱(案)は見直しされたのかどうか。</p> <p>(1) 今年6月「学校図書館法の一部を改正する法律案」が可決されたが、全ての小中学校に専任、専門の学校司書配置が求められるのではないか。</p> <p>2014年度の概算金が暴落し、生産者から深刻な声が寄せられている。市として緊急に対策を行うべきではないか。</p> <p>(1) 政府に対して「過剰米の市場隔離をはじめコメに対する需給調整を行うこと」「今年度のコメ直接支払交付金の半減措置を撤回すること」の要望を行うべきではないか。</p> <p>(2) 秋田県仙北市などのように、市独自で上乗せ補助を行う制度を導入するべきではないか。</p> <p>(1) 鳥獣被害が深刻な状況となっているが、思い切った対策を行い、伊佐市の農業を守るべきではないか。</p>	<p>市長</p> <p>教育市長 市 長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>	

# 平成26年第4回定例会一般質問

平成26年12月11日・12日・15日

(14枚のうち11枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	森田 幸一議員	1 農業振興について	<p>(1) 農業経営の現状について</p> <p>(ア) 農業振興を進めていくことが、本市の活性化につながると思うが、厳しい農業経営の現状をどのように捉えているのか。また意欲ある地域の担い手の確保、育成の対策はどのようなものか。</p> <p>(イ) 再生協議会で示された「水田活用の直接支払交付金」により、25年度と比較するとき麦、大豆、飼料米、WCS用稲の作付面積はどのようなものになったのか。</p> <p>(2) 農業所得向上対策について</p> <p>(ア) 四品目（麦、大豆、飼料米、WCS用稲）の販路はどうか。</p> <p>(イ) 主食米依存から戦略作物助成金、産地交付金等を受けられる農産物への切り替えをすることが農業所得向上につながると思うが、その対策をどのように図っていくのか。</p> <p>(ウ) 農政課発行の「支援策活用ガイド」をもとに、各集落に制度の理解をどのように図っているのか。</p>	市長	
		2 TPPの現状の認識と今後の対策について	<p>(1) TPPへの交渉参加表明から来年3月で2年目を迎えようとしているが、交渉状況と農業重要5品目の取り扱いはどのような状況か。</p> <p>(2) TPPの交渉状況について国、県との意思疎通はどのように図っているのか。また、市として今後どのような取り組みをするのか。</p>	市長	

## 平成26年第4回定例会一般質問

平成26年12月11日・12日・15日

(14枚のうち12枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
12	柿木原榮一議員	<p>1 伊佐市郷土史に係る学芸員の配置の考えはないのか。</p> <p>2 私有地を専用する国道問題の解決について</p>	<p>(1) 以前にも質問したことであるが、職員を短い間配置されたが、他の仕事が忙しく、なかなか郷土史の学芸員の仕事ができず、また、臨時の方2人の勤務日数を増やされたが、郷土史・伊佐地方の民族・郷土芸能の調査に支障をきたしている。</p> <p>例えば、本城の菱刈氏の初代の城跡、伊佐市指定文化財の26年度発掘で出てきたものの書類整理もできない、忠元の諏訪神社前の横穴式墓の保存、花北薬師原の試験的に掘られている所の縄文式土器の発掘と貴重なものがある。どう感じているのか。</p> <p>(2) 伊佐市の歴史に詳しい方々から市長・教育長に宛て、伊佐市郷土史に学芸員配置の要望書もでていますが、伊佐市の将来をみて、郷土史文化を語り継がれていくのか伺いたい。ちなみに要望書を提出された方々も高齢になられ、心配されている。第6回伊佐市青少年健全育成大会で講演された平田大一氏も沖縄の文化を大切にされ、頑張っておられている。伊佐市の郷土文化財の宝を大切に後継の子孫に残していかなければならないが、どう対処されるのか。</p> <p>(3) 伊佐市におられる、ある若い歴史の学芸員筆記試験合格者が、山野の石井八幡神社に島津義虎氏が1581年の戦勝祈願に奉納扁額された三十六歌仙扁額を見つけ出された。囑託で雇用し、古文書の解説をしてもらいたい。貴重なものを、きちんと後世に残すことを考えておいでであろうか。ちなみにその方は、現在本城の郷土誌発行にも関与され、伊佐古文書研究会講師としても活動されている。</p>	<p>市長 教育長</p> <p>市長</p>	

## 平成26年第4回定例会一般質問

平成26年12月11日・12日・15日

(14枚のうち13枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
			<p>から関白陣に向かう大字大口曾木、小字朝畑の途中のHさん他 15人の筆界未定登記地目山林、登記面積15,498平方メートルに東西に国道267号が通っていることはご承知のことと思います。薩摩川内市から伊佐市を経由して人吉市内に通ずる国道は重要な国道であるばかりでなく、地元の住民や近隣の方々にとって大切な生活道路であります。この地籍図をみますと、国道267号の形状で線引きされている。本市の説明によると、この線引きは「市のミスの可能性もある。急いで法務局にかけあい線引きを取り消し、再度現状に変更したい。」と答えているがどうなのか。詳細に、一体市のミスの可能性とは何なのか、市民にわかる説明をお願いします。</p> <p>(2) 筆界未定のこの土地は、国調以前の国土地理院の航空写真を見ますと、赤線もありませんが何故道路ができたのか。地域の古者に聞いても、「いつからはわからないが、昭和の初めころからこの道路はあったと記憶している」と要を得ません。現在昭和の年号に換算しますと、89年です。私はこれまでの長い間放置されてきた問題が、何もなかったとは考えられない。必ず、国・県と市との間に協議がなされ、文書等が残されているはずと思う。永久保存のはずであるが、いきさつはどうだったのかお聞きしたい。地権者・県の関係者の話によると40数年前の昭和47年に大水災害があり、軽石業者が採取していた山が崩れ道路を埋め尽くし多量の軽石・シラスが農業用の築池に流込、下流の耕作者は大変難儀をされたと聞いています。私の調査では復旧工事をされた県土木と地権者の間でトラブルが起き、県も私有地に国道があると認め、地権者は土砂止めのコンクリート擁壁工事をしてもらうことで合意されたということでもあります。さらにここ一帯は昭和52年前</p>		

## 平成26年第4回定例会一般質問

平成26年12月11日・12日・15日

(14枚のうち14枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
			<p>後に国土調査が行われており、当然、市と県土木、国で協議がなされているはずであるが、どうなっていたのか説明願いたい。</p> <p>(3) 私は分筆登記、筆界未定の土地の境界確定に立会った経験がありますが、分筆登記・境界確定には、隣接者の測量図面に基づいた立会・同意が必要です。印鑑証明書も必要ですのでなかなか難しいです。本市は当時、道路を図面に落とす際は、地権者、市、県職員と立会されたはずで、当然そのことを証明する記録等書類があるはずです。私の調査では、地権者は買収・同意はなかったと言われるが、どうか。</p> <p>(4) 私は、この問題を通して本市の道路行政について、国、県、市の取り組みがどうだったのか、実情を伺っておきたく質問しています。従って問い詰めるのではなく、今後もこの問題を放置されることはなく、早期解決をお願いしたいので質問をしています。このような登記ができてない例が、伊佐市の他の国道、県道、市道にないのか。</p> <p>(5) 伊佐市を通過するこの国道267号の解決を何時頃までに考えておられるのか。</p>		